

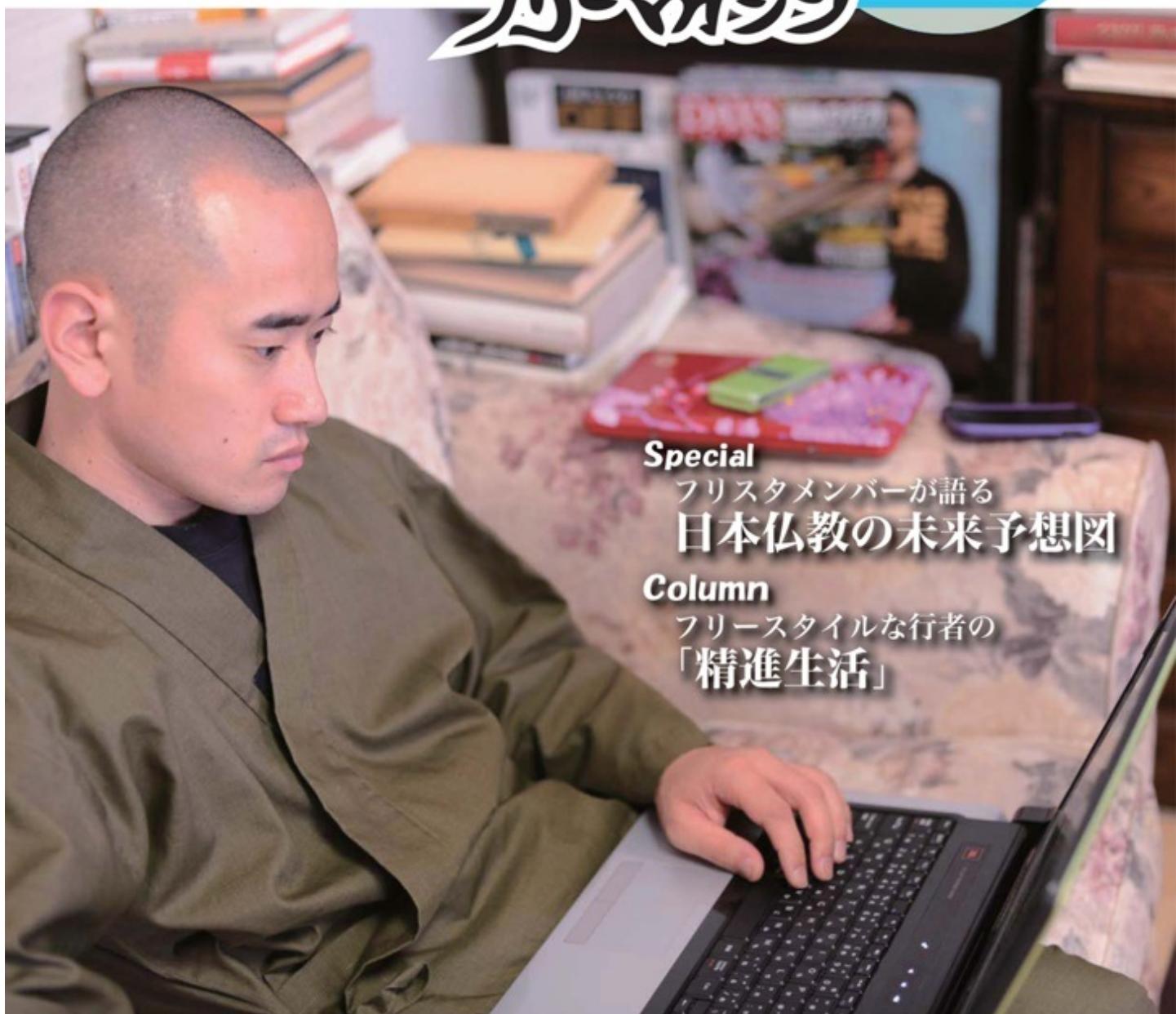
仏教の未来に挑戦する情報誌

# フリースタイルな 僧侶たちの フリーマガジン

2011/8・9

Vol.12

Japan  
since 2009.8



## Special

フリースタメンバーが語る

日本仏教の未来予想図

## Column

フリースタイルな行者の

「精進生活」

洛陽三十三所観音霊場で御朱印を体験してきました!

精進食べ歩き～「今」を生かす、隆兵そば

イベントインフォ ETC

<http://freemonk.net>

# 日本仏教の未来予想図☆

## フリースタメンバーが語る☆



「仏教をもっと身近に」という合言葉のもと、フリースタイルな僧侶たち（以下「フリースタ」）が2009年8月に発足してから2年が経ちました。

今まで無事に活動を続けられたのはひとえに暖かいサポートや読者のおかげです。本当に感謝しています。ところで、いま仏教はなぜ必要なのか。そして私たちはこれから活動をどう展開していくのか。フリースタを代表するメンバーが、それぞれの思いを語りました。

### 日本仏教ってなんだろう？

（池口）「お坊さん×フリースタ」、「フリースタ×フリースタ」など、意外性が話題を呼んだために、「フリースタ×フリースタ」を作った團体と思われている方も少なくありません。でも、私はなにも「フリースタ×フリースタ」を作っているお坊さんを目指してフリースタを始めたわけではないんです（笑）。本当に知りたいのは、日本仏教の魅力だつたり、奥深さだつたり、という部分なんですね。これをうまく伝えるのは難しいですが……。

（熊谷）「日本仏教」って漠然とはイメージできるのでしょうか、改めて考えると捉えどころがない。

檀家さんと話をしていると、各宗派の教義の細かな差異についてあまり関心がないよう、浄土真宗の僧侶である私の前で堂々と、「お遍路さん（＝真言宗ゆかりのお寺めぐり）に行つてきました」と言われることがあります（笑）。

チベットでは8世紀末に、大乗仏教の「中觀派」という学派が国家における唯一の正統な学派として認定されました。そのため、「チベット仏教」というアイデンティティを持ちやすい。一方、日本は各宗派があまり互いを吸収合併せず存続してきました。

（小野）「日本仏教って何？」って一般の人間に聞いたら、教義の話はまず出てこない。きっと「先祖祀りでしょ」って言われると思うんです。先祖祀りって自然崇拜的なところが



池口龍法



熊谷誠慈



露の団姫



小野剛賢



池口龍法（いけぐちりゅうほう）：左上写真  
昭和55年生、兵庫県在住。浄土宗僧侶。

浄土宗西明寺に育ち、幼い頃から仏教に親しむ。長じては京都大学文学部・同大学院文学研究科において仏教学を専修。大学院中退後は、現在にいたるまで浄土宗總本山知恩院に奉職している。

平成21年8月に「フリースタイルな僧侶たち」を発足させ、代表に就任。

露の団姫（つゆのまるこ）：左下写真  
昭和62年生。落語家。

仏教に深い関心と信仰を持ち、自作の仏教落語に取り組む。特に法華経が大好きで、天台宗キャンペーンガールもつとめる。

熊谷誠慈（くまがいせいじ）：右上写真  
昭和55年生。  
京都大学次世代研究者育成センター助教。

専門は仏教学およびチベット学。  
最近はチベット古来の宗教であるボン教の研究を行っている。また、ブータン研究にも着手し始めた。

小野剛賢（おのごうけん）：右下写真  
昭和51年生、高野山真言宗薬師院副住職。

ベジタリアンで小食を実践。  
現在、自行、法務のかたわら、阿字觀想を通じて、在の方々に仏教の教えをわかりやすく伝えている。また、「フリースタイルな行者の『精進生』」を連載中。

(露の)でも、「日本佛教らしさ」を意識しすぎるのもよくないと思います。大切なのは「自分の信じる教えを自分の中でどう位置づけるか」ではないでしょうか。

私は半年前に結婚したんですけど、夫はクリスチヤンです。クリスチヤンは世界的に見たら珍しくはありませんが、日本ではクリスチヤン人口は1%です。統計的な数字で「1%」って判断するから、夫は変人扱いされるんですよ(笑)

(池口)確かに、悩み苦しんでいる人を前にしたとき、「日本佛教らしさ」なんてどうでもいいことです。今日、心に不安を抱えている人は多い。「お坊さんに悩みを聞いて欲しい」という声もよく寄せられますが、思い詰めた末に突然にお寺を訪ねてくる人もいます。おそらく、お寺は古くから心のよりどころだったんだでしょうね。フリースタと/orして「心のケア」は重点的に取り組むべき課題だと認識しています。

一方で、フリースタではこの1年間、「お寺で宇宙学」という企画の運営に携わり、お寺の本堂で宇宙学の権威の方々と議論を繰り返してきたのですが、そもそもこの企画は、「人類が宇宙に住むときに、どのようなコミュニティを形成できるか」という壮大な企みをもつてスタートしています。宇宙にお寺ができるのはどれくらい未来の話かわかりませんが、マクロな視点から日本佛教を捉えておく姿勢も必要だと思います。

フリースタには多彩なメンバーが揃っているので、個人の「心」のことを取り組みつつ、理論的にもアプローチできるでしょう。両面を徹底的に進めていくことによって、時代に適ったお寺のあり方を提示できるはずです。

## お寺に求められているもの

ゆるぎないものだからこそ、生きる命を応援してくれるのだと感じています。

(小野) 日本では、僧侶は一般に肉食妻帯しているので、他の国の仏教徒からは違和感をもつて見られます。批判されることもあります。

フリストが、日本仏教を語るためにには、僧侶がまず戒律を意識する必要があるでしょう。僧侶として本来守るべき生き方を無視して教義だけを伝えようとすると、どうしても日本仏教が薄っぺらく見えてしまいます。

(池口) これは私にも耳が痛い言葉ですね。

お坊さんも戒律通りにはなかなか生きられないことが、慣例的にあるのは宗派の教義的にも赦されるとしても、これは決して褒められたことではありません。お坊さんに清く正しく生きて欲しいと望んでいる世間の視線も感じます。

一方で、お寺やお坊さんにもっと身近にあつて欲しいというニーズもあります。フリストでは、宇宙学の研究者とのコラボイベント「お寺で宇宙学」やカフェでの「朝一座禅」などにも関わり、遠い存在に思われているお寺と一般を繋ぐ役割をいくらか果たしてきました。これからも社会に寄り添つたお寺のあり方をさらに模索していきます。

(露の) 私は、一人の仏教ファンとして、お寺はもつと身近にあって欲しいと願っています。私は落語家としてそのためにお手伝いができると思っています。もともと、落語はお寺の和尚さんが始めたものです。

いま、若者から見て仏教は「非日常」ではないでしょうか? 最近「パワースポット」なるものが流行り、簡単にお寺を見て「癒される♪♪」という女性の多さにあきれるばかりです。お寺はハーブティーやアロマではありません。

本来、仏教は「日常」にあり、その教えが生き方にアドバイスを与えてくれるものであるはずです。人生指針であり、

神や仏を敬い、自然に親しむことで、人は優しくなれる

(池口) 昔なら、地域のお寺と生まれたときからつきあいがあつて、最後はそのお寺のご住職に看取つてもらいました。

でもいまは違う。大学に進学するとき、社会人になるとき、地勘がないから、レストランを探したり就職先を探したりするときには、情報を提供してくれるホームページや雑誌が大切になってしまいます。フリストも、お寺と人々をつなげる中間的な役割を期待されている部分があると感じます。仏教に出逢うネットワーク作りと、そして、つながりを深化させるためのスペース。この両方を充実させたいですね。

(露の) お寺と気軽にご縁を結べる機会があれば、ふと立ち止まって生き方を振り返るキッカケになるかもしれません。

仏教を供給するための需要をうまく探し当て、それをうまく引き出しがフリストの大切な役割であると思います。

特に、身近な命の誕生や死別をキッカケに、若者が命について考えて欲しいです。そこで初めて、仏教を求め、触れ合いい、そして、生きる喜びを感じられるのではないかでしょう。

(小野) 日本では、仏壇の向こう側に様々な結びつきを感じてきました。「葬式仏教」と批判される理由もわかりますが、この国の仏教は現実的にも充分役立ちます。先祖とともに生きてきました。葬式仏教と批判される理由もわかりますが、この国の仏教は現実的にも充分役立ちます。先祖とともに生きてきました。葬式仏教と批判されるには相応の理由があるとも思います。でも、「命」を味わう時間が必要であることは私たちも声を大にして言っておきたい。「坊主にくけられをどうするかつて問題だし、ひとしきり泣かないと『死』

されましたが、そもそも、私たち人間が理解できることはたかが知れているのです。生きていくうえで、割り切れないことはいっぱいあります。それが現実です。人智を超えたものがあつて、私たちの命がある、と知らねばなりません。「仏教」って堅苦しく考えずに、素直に神や仏を敬い、自然に親しんで欲しいですね。そうすれば、突然の悲しみもいくらか受け容れられ、人は少し優しくなれるようになります。

(熊谷) 仏教がそのように現実的に果たしてきた機能は見直されています。たとえば、「応用仏教学」というプロジェクトを実施しているときには、情報提供してくれるホームページや雑誌が大変になります。ただ、「応用」の部分ばかりに目が行ってしまうと、「基礎」である教義の理解がいい加減になる可能性が高い。そこで私は、基礎的教義を文献的にしっかりとおさえて学んだ若手研究者に声をかけ、むしろ彼らに頼りながら、社会に応用されています。フリストも、お寺と人々をつなげる中間的な役割を期待されている部分があると感じます。仏教に出逢うネットワーク作りと、そして、つながりを深化させるためのスペース。この両方を充実させたいですね。

(露の) お寺と気軽にご縁を結べる機会があれば、ふと立ち止まって生き方を振り返るキッカケになるかもしれません。仏教を供給するための需要をうまく探し当て、それをうまく引き出しがフリストの大切な役割であると思います。

（小野）日本では、仏壇の向こう側に様々な結びつきを感じてきました。「葬式仏教」と批判される理由もわかりますが、この国の仏教は現実的にも充分役立ちます。先祖とともに生きてきました。葬式仏教と批判されるには相応の理由があるとも思います。でも、「命」を味わう時間が必要であることは私たちも声を大にして言っておきたい。「坊主にくけられをどうするかつて問題だし、ひとしきり泣かないと『死』える時代がいつか訪ると信じています。

## フリースタイルな行者の

### 「精進生活」



#### 粗食について

もとより僧は、粗食であり小食であるべきだ。

私はつきあいなどがない限り、ほとんど一日一食で過ごし、もう三年ほどになる。一食をたらふく食べるというわけでもなく、一回の食事も他の人が驚くほど粗食である。初めは慣れずにひもじい思いをしたり、一時は痩せすぎて、「病気?」「ガン?」と疑われた(笑)りもしたが、最近はこれが当たり前になりました、続けていると不思議なことに体重が戻ってきた。

仏教にはお釈迦様の時代から、不非時食戒があり、正午をまわれば固体物は口にしてはいけない。即ち、基本的に出家者は朝とお昼前の二回の食事しか口にするのを許されていないのである。

私の場合は粗食を通じて、体調が良くなり、以前より元気になった。特に朝の目覚めが非常に良くなつたこと、前にも増して食べ物がおいしく、ありがたく感じられるようになつたことが利としてある。

なるほど、お釈迦様の言うとおりだ。

逆に現代の食生活は食べ過ぎではないだろうかとさえ思うようになつてきている。以前には、習慣的な感覚で立ち寄つてしまつたコンビニなどで何か食べ物を買おうかなんて気持ちがなくなつたことも清々しい。

わかるかい? この気持ちが。

でも、食べる時は、これでもかといふくらい、たらふく食べる。  
たまには許せよ。ナムナム。

小野剛賢 昭和51年3月17日 高野山真言宗・薬師院 副住職  
<http://www.eonet.ne.jp/~yakushii/> (高野山真言宗・薬師院)  
<http://ajikan.blog.eonet.jp/default/> (ブログ)

## 洛陽三十三所観音靈場で御朱印を体験してきました!

お寺や神社で授けられる御朱印、最近は旅の記念に求める方も多いようです。中でも京都の観光名所を含み、観音さまを祀る33の寺院からなる洛陽三十三所観音靈場は、観光客が多く訪れる人気の靈場のひとつ。今回はその中から清水寺と青龍寺に、御朱印は初めてのお二人と、御朱印体験をしてまいりました。

#### 世界の名刹、清水寺

清水寺は言わずと知れた世界遺産、訪れたことのある方は多いと思いますが「清水の舞台」と呼ばれる本堂においてのご本尊が観音さまだと、みなさんが存知でしたでしょうか。しかも33のうち5つの札所(巡礼者が参拝のしるとして、札を納めたり受け取つたりする所)が清水寺にあるんです。



清水寺から青龍寺へは歩いて10分程度。京都らしい佇まいの町並みに続いて、長い板塀の向こうにお寺の門が姿を現します。いつか、おばあちゃんと一緒に参つたお寺のような雰囲気の青龍寺。ご近所では「伽羅觀(きらかん)さん」の通り名で親しまれているそうです。

「もとほんとご近所さんや檀家さんのお寺やし、参拝の方においていただくのは戸惑う部分もあつたんですけど、お寺離れとか言うて久しいですしき、こうしてうちみたいな普通のお寺に親しんでもらう機会になれたらうれしいことやとおもて」と笑顔でお話しくださる奥さま。

御朱印初体験のお二人も、有名寺院での楽しみはもちろん、普段訪ることのない一般寺院でのふれあいに、良い機会をいただいたと満足顔で今回の体験を終えられました。

洛陽三十三所観音靈場には、他にも素敵なお寺がいっぱいです。みなさんも訪れてみてはいかがでしょうか。



こちらもご本尊が  
観音さまです  
まずは本堂にお参り

御朱印をくださったのは  
奥様でした



お参りをしたら朱印所へ  
初御朱印を清水寺でゲット

9/25  
日曜日

## 東日本大震災への彼岸法会

3月11日に発生した東日本大震災。この未曾有の災害により、大勢の方々がお亡くなりになり、そしてまだ厳しい生活を余儀なくされている方がおられます。フリストアは、この震災に対して何ができるか談義を重ね、わずかながらも積極的に支援を続けてきました。今後も、遠く離れた被災地の方々に対して何ができるのか考えてまいります。

さて、秋季彼岸を迎えるにあたり、フリストアでは、1つのアクションを実施します。超宗派の僧侶による震災追悼の「祈念法会」、トークライブ「仏壇ナイト in 京都」、そして、「振り返りと考え共有の場」です。

「祈念法会」は震災物故者の御靈の供養ばかりでなく、被災地の復興を祈念いたします。

それに続いて、前号でご紹介した都築仏壇店の都築数明さんを迎え、「仏壇ナイト in 京都」。仏壇の尽きせぬ魅力を都築さんに語っていただくとともに、いまあらためて仏壇や位牌の意味を考え、東北地方に祈りを捧げるトークライブを行います。

また、「振り返りと考え共有の場」では、精力的に支援活動を続ける杉若恵亮和尚さん（日蓮宗僧侶、ボンズクラブオーナー）に話をうかがい、関西に住む私たちにいま何ができるのかを考え、想いを共有する場をもちます。

### 東日本大震災への彼岸法会

日程：9月25日(日) 秋季彼岸

場所：ボンズクラブ 京都府京都市北区紫野下柳町47-1

時間：15時30分受付 16時開始

費用：夕食含 3,000円（フリストア会員 2,000円）

※収益は東日本大震災の復興支援のために寄付いたします。

開始前 参加者による祈りの灯火（カップローソク）

16時 クリスタルボール演奏

16時15分 インド音楽演奏

16時35分 合奏

17時 超宗派による祈念法会

17時40分 仏壇ナイト in 京都（都築数明さん）

17時40分 夕食会（精進料理）

19時40分 震災の振り返りと考えの共有の場（杉若恵亮さん）

21時 終了

※クリスタルボール演奏は本誌でコラム執筆中の小野剛賢さんが担当。  
現在猛練習中です。ご期待ください!!

※都築数明さんデザインによる新作仏具を当日公開。お楽しみに!!

[お申込み・お問い合わせ]

info@freemonk.net/090-5896-6478（池口）

フリースタイルな僧侶たちホームページからも申込みできます。

8/7  
日曜日

## 「Ticket to Tibet」第4便 ～チベットのうた～

スライドや映像でチベット高原の夏の景色や地元の方々の演奏の様子をごらんいただきながら、チベット本土やダラムサラで出会った歌を演奏します。一緒に楽しくこの暑さを越えていきましょう。

（川辺ブログより、チベットの記事

<http://kawabeyuka.blog107.fc2.com/blog-entry-19.html>

講師：川辺ゆか（うた・ダムニエン）

自らの足で訪れ時間をかけ宝物のように拾い集められた音楽を、異国の言葉と美しいメロディーで表現。国境を越えて日本、チベット、東地中海、アイルランド等々の歌をうたい、奏でる。関西を拠点にオランダ、オーストリア、ウズベキスタンほか各地で演奏を行う。

[http://homepage2.nifty.com/utauaho/（ブログ）](http://homepage2.nifty.com/utauaho/)

日時：8月7日(日) 19時～21時

場所：mocomococafe

京都市中京区間之町通丸太町下ル大津町665  
(烏丸丸太町を東へ進み1つ目の信号を「間之町通り」  
沿いに南へ下がって2軒目)

参加費：1,000円（フリストア会員は800円）

定員：20名（当日参加歓迎ですが、定員を超えますとご入場  
いただけませんのでできるだけお申込みください。）

[お申込み・お問い合わせ]  
辻村優英(tsunke0211@yahoo.co.jp)

10/1  
土曜日

## 西小山・圓融寺で座禅コンします!!

（寺社コン×圓融寺×フリースタイルな僧侶たち）

東京で毎月（関西は不定期）行っている寺社好き男女の縁結び企画「寺社コン」！10月は「座禅」をテーマに、東京都目黒区にある圓融寺で座禅を体験。みんなで心を磨いた後に懇親会を行います。

同じ趣味の人が集まりますので初対面でも毎回とても話しやすいのが特徴です☆過去には、2週間で付き合うようになった人や、一ヵ月で結婚が決まったご夫婦などもあり、カップル誕生率が高い寺社コンです。お寺が好きな方は是非参加してみませんか？

日時：10月1日(土)

集合：東急目黒線西小山駅 15時

会費：4,500円

（交通費、その他、諸費用は各自。懇親会は4000円前後。）

[お申込み・お問い合わせ] 寺社コン (<http://jisyacon.com/>)



昨年行った写経コンに統いて、今回は座禅をテーマに寺社コンを実施。（写真は圓融寺での写経コン風景です）

## 精進食べ歩き

### 「今」を生かす、隆兵そば

「急いで廊下をバタバタと走り、戸をバタンと閉め、用事を済ませて部屋から出でると、老師のお付きの方が立つておられ、ちょうどいい具合にしてくださいと、叱られたんです」。京都・老桂にある「隆兵そば」の主人中村隆兵さんが、静謐を旨とする禅寺での修行時代にお付きの方から受けた注意は、まさに禅問答のような言葉だった。

「僕の頭には部屋に行つて用事を済ませることしかなくて、「今」廊下を通りてることを大切にしていなかった。それを見抜かれたんです。お付きの方がおつしやられたのは、いくら先に目的があろうと、部屋での用事に至るまでの一つ一つをちょうどいい具合にしてください、という意味だったんですね」。

未来の目標達成を追い求めるあまり、「今」をおろそかにしてはならない。隆兵そばの料理にはこの戒めが凛と息づいている。「たとえば蕎麦打ちのとき、最後に包丁で蕎麦をトントンとリズミカルに切っていくわけですが、これをしたいがためにそれまでのプロセスをなぞりにするとうまくいきません。そば粉に水をまんべんなく行き渡らせる、生地をきれいな円になるように伸ばすなど、途中が少しでも狂えば、それが最後に大きな狂いを生じさせます。今、禅寺でのあの言葉が一層身に沁みます」。その鋭い眼光の奥には「今」を生かすことへの意気込みがみなぎっている。大切にされたひとつひとつの「今」が織りなす蕎麦料理は、薫り高く身も心も清涼に包んでくれる。(取材 辻村優英)

「隆兵そば」 <http://www.yuhei-soba.jp>



## 協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。  
以下に法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

安心院（京都府八幡市・浄土宗）  
安樂寺（京都府南丹市・浄土宗）  
石尾山弘法寺（大阪府和泉市・真言宗）  
延命寺（大阪府堺市・浄土宗）  
円融寺（東京都目黒区・天台宗）  
教伝寺（京都府船井郡・浄土宗）  
窪之坊（山梨県南巨摩郡）  
九品寺（京都府京都市南区・浄土宗）  
光照院（東京都台東区・浄土宗）  
光徳寺（福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派）  
光明院・田中医院（京都府京都市中京区  
・淨土宗西山禅林寺派）  
光明寺（滋賀県草津市・真宗興正派）  
西明寺（兵庫県尼崎市・浄土宗）  
淨榮寺（滋賀県近江市・浄土宗）  
淨觀寺（滋賀県甲賀市・浄土宗）  
淨元寺（兵庫県伊丹市・浄土真宗本願寺派）  
勝樂寺（東京都町田市・浄土宗）  
信賞寺（福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派）  
心光院（東京都港区・浄土宗）  
瑞聖寺（東京都港区）

※五十音順に表示しています。  
協賛は随時受け付けています。

## 読者のみなさまからの お便りを紹介!

フリースタではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はこんなお便りをいただきました。

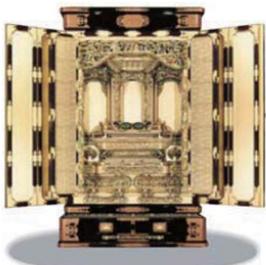
いつも、たまに乗っかって読ませてもらっています。お寺でアートを展示しているという、なんともモダンなイベントをしていたのです。わたし自身はお寺の鳥子さんか幼なじみにいたので、身近に感じていて、こうした機会があれば、若い人もお寺に興味を持ちやすくなるだろうと思いました。実際、高野山は若い人と年齢の入り交じた空間となっていました。お寺がこれまでのあり方を考えさせられました。

30歳 女性 大阪府

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、またWebサイトでも受け付けます。次回採用の方には抽選で2名さまに悟東あすかさんの近著『幸せを呼ぶ仏像めぐり』(写真右)をプレゼント! ご応募お待ちしています。

あて先：フリースタイルな僧侶たち 編集部  
〒661-0982 尼崎市食満6-11-15  
FAX：06-6480-9821  
Email：info@freemonk.net  
Web：<http://freemonk.net>





浜屋は  
関西最大級の  
お仏壇・お仏具・  
墓石の専門店です。



浜屋は個人情報を保護する企業を示す  
プライバシーマーク取得企業  
です。



やすらぎの世界を創る——  
**浜屋**  
お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は  
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル  
**0120-1678-94**  
●受付時間／午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

■奈良王寺店 大和・王寺町 ☎ (0745) 31-2211代  
 ■奈良生駒店 近鉄・生駒駅北 ☎ (0743) 83-2211代  
 ■岸和田店 2番地・西之内 ☎ (072) 445-2211代  
 ■羽島店 第2-2番地 ☎ (072) 261-2211代  
 ■藤井寺店 近鉄・藤井寺 ☎ (072) 954-2211代  
 ■明川店 中野・交差点 ☎ (06) 6709-2211代  
 ■中環東大路店 近鉄・西岩瀬 ☎ (06) 6783-2211代  
 ■寝屋川本店 石津・交差点 ☎ (072) 829-2211代  
 ■吹方面店 長尾・家具町 ☎ (072) 836-2211代  
 ■高槻店 高槻・柏原町 ☎ (072) 683-2211代  
 ■茨木店 茨木・大手町 ☎ (072) 622-2211代  
 ■豊中店 豊中・郵便局横 ☎ (06) 6848-2211代  
 ■川西店 川西・火打2 ☎ (072) 759-2201代  
 ■伊丹店 板急・駅前西 ☎ (072) 775-2211代  
 ■尼崎店 阪神・駅南側 ☎ (06) 6413-2211代

■本社/姫路市南畠町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

## サポートーズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、  
応援していただける方を大募集中!!

対象者 フリースタを応援していただける方

協賛年会費 5千円(個人) / 3万円(法人)

※サポートーズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また、フリースタ主催の各種イベントにおいて、優待いたします。

※法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先:三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943  
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

## 広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、様々な場所に設置しています。

設置箇所は現在も拡大中(ホームページで確認できます)!

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様: A4 サイズ・8 頁・カラー

発行部数: 10,000 部 (2011 年 8 月現在)

お申し込み、お問い合わせは、フリースタイルな僧侶たち編集部(電話番号などは下記)まで。ホームページからもお申し込みいただけます。

## フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成 23 年 8 月 1 日発行 第 12 号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒661-0982 尼崎市食満 6-11-15

TEL 090-5896-6478

info@freemonk.net

http://freemonk.net

\* 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

## Buddhism Through English

(仏教聖典を初步英語で学ぶ会)

和英対照の『仏教聖典』をテキストとして使用し、日本語と簡単な英語を交えながら講義を進めています。仏教や英語に興味がある方なら、どなたでもご参加頂けます。楽しく、英語を通して仏教を学びましょう。

講師 田中ケネス先生(武藏野大学教授)

今年度の予定

- 第1回 2011年 9月22日(木)
- 第2回 2011年10月20日(木)
- 第3回 2011年11月24日(木)
- 第4回 2011年12月22日(木)
- 第5回 2012年 1月19日(木)
- 第6回 2012年 2月16日(木)
- 第7回 2012年 3月22日(木)

時間 18時30分～20時

会費 5,000円

(平成23年度は9月～3月までの7ヶ月間)

※随時参加可能(但し、毎回1,000円)

テキスト代 『和英対照仏教聖典』1,680円(貸出も可)

対象 初級英語習得者(中級・上級英語習得者及び外国人も参加可能) 定員40名

場所 〒108-0014 東京都港区芝4丁目3-14仏教伝道センタービル7F「見」の間  
(http://www.bdk-jp.org/bdk/access.html)



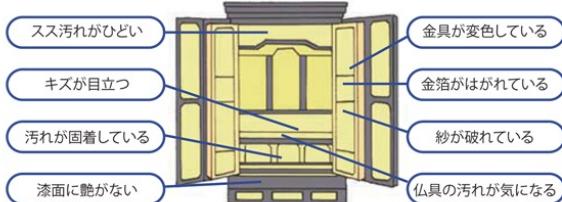
●お申込み・お問合せ●  
(財)仏教伝道協会 担当: 大來(オオギ)  
Tel: 03-3455-5851 Fax: 03-3798-2758  
Email: bdk@bdk.or.jp HP: http://www.bdk.or.jp

## お仏壇泡洗浄専門店

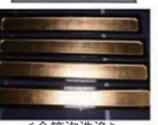
京都北白川 一步堂 —IppoDou—



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。  
お宅のお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか?



<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔修補>  
<金具洗浄>  
<扉修復>  
<外扉磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄((株)マイクリーンお仏壇本舗加盟店)

京都北白川 一步堂

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… [ 京都 仏壇 一步堂 ] で検索!



題字 しらたきなべお

DTP&デザイン bdt

総指揮 池口龍法